

令和6年度入間市児童発達支援センター事業実施報告

1 相談支援事業

(1)相談支援(基本相談随時)

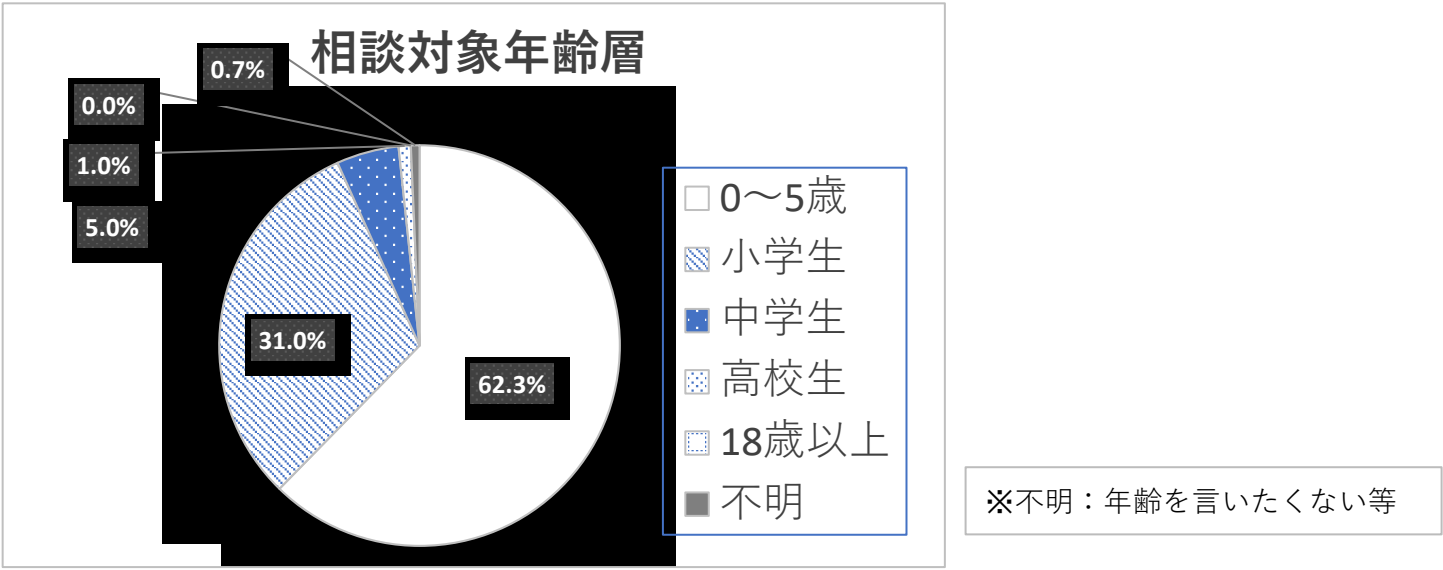
保健師・保育士・指導主事による初期相談を行いました。

① 相談受付件数(令和7年3月31日現在 延べ対応件数)

時期	4～6月	7～9月	10～12月	1-3月	計	前年数	比較
件数	237件	281件	236件	260件	1014件	835件	179件

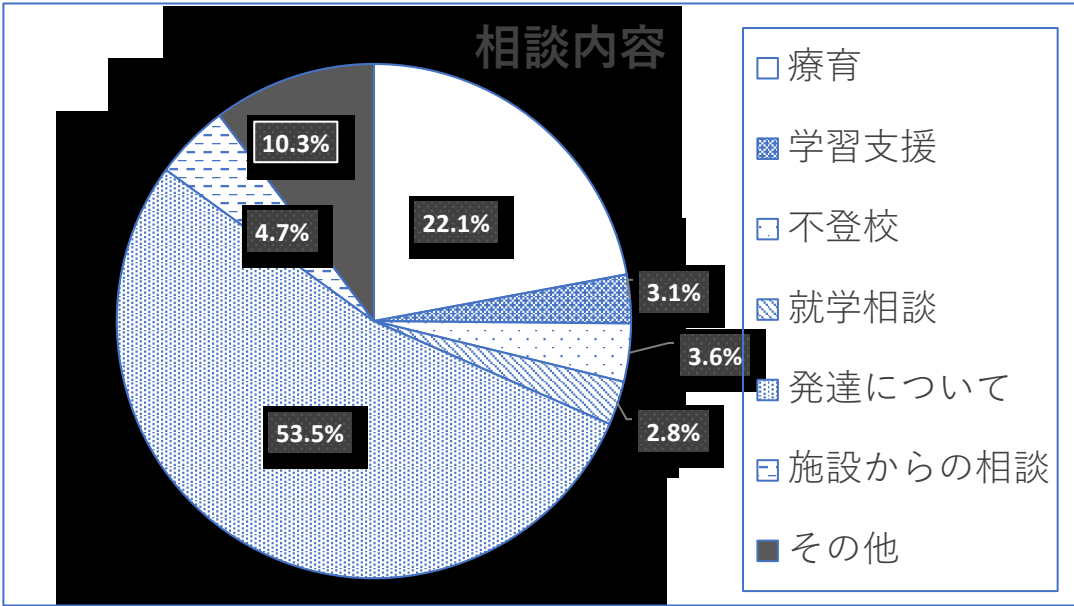
② 相談対象の年齢層(令和7年3月31日現在 延べ対応件数)

年齢層	0～5歳	小学生	中学生	高校生	18歳以上	不明	計	前年数	比較
件数	632件	314件	51件	10件	-	7件	1014件	835件	121.4%



③ 相談内容(令和7年3月31日現在 延べ対応件数)

相談の種類	件数	割合	相談事例
療育	224件	22.1%	転入による療育継続希望、療育につなげたいなど
学習支援	31件	3.1%	学習に関する相談など
不登校	37件	3.6%	学校に行きたくない、心理相談など
就学相談	28件	2.8%	就学先の検討、保育所での観察など
発達について	542件	53.5%	言葉の遅れ、話が聞けないなど
施設からの相談	48件	4.7%	集団行動に入れない、CLMを用いた施設への指導など
その他	104件	10.3%	医療的ケア児についてなど
計	1014件	100%	



(2)専門相談

専門職による相談支援を行いました。

相談受付状況(令和7年3月31日現在)

職種	設定	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	計	割合	
公認心理師	火・水曜	36件	38件	42件	34件	150件	73.2%	不登校 非行問題行動
作業療法士	月1回	5件	1件	5件	8件	19件	9.3%	運動発達の遅れ
理学療法士	月1回	0件	0件	2件	3件	5件	2.4%	園内の過ごし方
言語聴覚士	月1回	3件	6件	6件	6件	21件	10.2%	言語発達 吃音障害
児童精神科医	隔月1回	1件	1件	3件	5件	10件	4.9%	療育
		45件	46件	58件	56件	205件	100.0%	

(3)障害児相談支援(計画相談)

利用計画を作成し、サービス事業者等と連絡調整を行いました。児童発達支援センター利用児童60人が利用しました。

利用状況(令和7年3月31日現在)

職種	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	計
相談支援専門員	158件	136件	154件	169件	617件
	25.6%	22.0%	25.0%	27.4%	100.0%

(4)その他相談支援事業

① オンライン相談支援

外出、対面による感染リスクを避け、在宅での相談支援を充実するもの。

重症心身障害児、医療的ケア児等の外出が難しい児童や中高生等、窓口での相談につながりにくい方や、来所する時間がない方に相談の機会を広げる入口としての活用も見込みました。

ア オンライン相談

インターネット上のビデオ通話サービスを活用し相談支援を行う事業

0件

イ 発達支援事業者等への機材貸出

利用者とのオンライン面談を支援するため、機材を貸し出す事業

0件

② 休日相談会

奇数月1回休日相談会を開催しました。

市職員(保健師、保育士、指導主事)、専門相談員(心理師、作業療法士)が相談対応しました。

相談受付状況(令和7年3月31日現在)

	実施日	参加	割合	昨年度	増減	前年対比
第1回	5月25日(土)	6組	15.0%	9組	-3組	67%
第2回	7月6日(土)	8組	20.0%	5組	3組	160%
第3回	9月8日(日)	8組	20.0%	6組	2組	133%
第4回	11月17日(日)	5組	12.5%	6組	-1組	83%
第5回	1月18日(土)	8組	20.0%	6組	2組	133%
第6回	2月15日(土)	5組	12.5%	4組	1組	125%
		40組	100.0%	36組	4組	117%

※R6相談枠 児童発達支援センター:10組、児童センター・教育センター:8組(職員の移動が必要なため)

③ 就学支援

概要 障害のある又はその疑いのある児童の就学に関する支援を行うもの。

児童発達支援センターの指導主事(学校教育課併任)が一部を担当しており、保育士は就学支援委員会の委員を担っていました。

対象 障害又はその疑いのある学齢児童生徒及び就学予定者

主に児童発達支援センター事業を利用する児童を担当

(5)発達支援に係る情報の管理活用

支援を要する児童の情報を市において管理活用するもの。発達支援システムを令和5年度3月末導入。

2 児童発達支援事業

(1)児童発達支援「元気キッズ」

①事業概要と利用児童数

事業概要と利用児童数				延利用児童数	
月	主な事業内容	行事等	随時	延利用児童数	前年度
4月	4/9開始 支援計画策定	自閉症啓発デー週間	・支援会議 ・モニタリング ・入園相談 ・支援計画策定・更新	169人	180人
5月	身体測定			234人	243人
6月	内科健診			241人	283人
7月		七夕週間		240人	248人
8月	内部研修(8/5～16)			136人	172人
9月	身体測定 モニタリング(前期評価) 支援計画策定			206人	259人
10月	利用意向聴取	運動会週間		282人	284人
11月	内科健診・身体測定			276人	268人
12月		クリスマス週間		157人	165人
1月	身体測定			261人	271人
2月	モニタリング(後期評価)			230人	258人
3月	3/14修了	修了式		138人	158人
				2,570人	2,789人

②在籍児童数（令和7年3月31日現在 実数）※年齢は4月1日現在

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	昨年度
ピンク(重症心身障害児・医療的ケア児等・親子通所)	1人	0人	0人	1人	1人	0人	3人	7人
みどり(0～2歳・親子通所)	1人	3人	9人	4人	3人	0人	20人	17人
きいろ(3～5歳・単独通所)	0人	0人	0人	4人	3人	5人	12人	10人
あお(3～5歳・単独通所)	0人	0人	0人	3人	9人	5人	17人	20人
	2人	3人	9人	12人	16人	10人	52人	54人

(2)保育所等訪問支援(随時)

21人の児童が利用しました。

利用状況(令和7年3月31日現在)

訪問先施設	登録児童数	延利用児童数						
		4～6月	7～9月	10～12月	1-3月	計	前年数	比較
保育所	3人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	1人
保育園	2人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人
幼稚園	3人	0人	1人	2人	1人	4人	4人	0人
認定こども園	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	-1人
小学校	7人	2人	1人	1人	1人	5人	1人	4人
学童保育室	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	16人	2人	4人	4人	2人	12人	7人	5人

(3)日中一時支援(随時)

24人の児童が利用しました。

利用状況(令和7年3月31日現在)

区分	登録児童数	延利用児童数						
		4～6月	7～9月	10～12月	1-3月	計	前年数	比較
未就学児	20人	125人	131人	166人	142人	564人	347人	217人
小中学生	4人	10人	4人	14人	18人	46人	1人	45人
16-18歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	24人	135人	135人	180人	160人	610人	348人	262人

3 地域支援事業

(1) 家族支援

① 保護者交流会

概要 障害のある子どもを育てる保護者の孤立を防止するため、保護者同士が集まり、悩みを共有し、情報交換する機会を設けるもの。

日程等 10/30(水)・11/29(金) 参加人数 計2名

運営 児童発達支援センターういず

② 親支援講座(教育委員会共催)

通級・支援級の児童生徒の保護者を支援するため、発達の特性や進路に関する講演等を行うもの。

7/29(月) 配慮を要する児童生徒の登校しづり・不登校(作新学院大学女子短期大学部 矢野善教准教授) 参加人数22人

8/30(金) 配慮を要する児童生徒の進路(埼玉県立狭山緑陽高等学校・私立日々輝学園高等学校) 参加人数27人

10/23(水) 児童発達支援事業・放課後等デイサービス(入間市障害者支援課、市内各事業所担当職員) 参加人数21人

11/20(水) 埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校見学 参加人数14人

③ 就学を考える会

概要 就学先進路の検討材料を提供するため、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校等に関する説明会と先輩保護者の経験談を聴く機会を設けるもの。

対象 おもに年中児(4歳児)の保護者

日程等 ・2/3(月) 通常学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校について(教育センター、狭山特別支援学校、日高特別支援学校、坂戸ろう学園、塙保己一学園) 参加人数 35人

・3/11(火) 就学相談について、先輩保護者の話を聞く、小グループでの意見交換会 参加人数 13人

④ きょうだい児支援

概要 支援を要する児童のきょうだい児(兄弟姉妹)は、保護者にかまってもらえない寂しさや、それを我慢する辛さ、周囲から期待される負担感、わかってもらえない孤独感などを抱えて悩む場合があると言われています。きょうだい児支援の取組みはまだ十分ではないことから、境遇を同じくするきょうだい児の仲間づくりや居場所づくりの機会を提供し、きょうだいが感じる負担や不安を軽減することを目的とするもの。

内 容 令和6年度は実施なし

(2) 地域支援

① 関係機関連絡会

概要 顔の見える関係を作り、地域の支援向上の基礎とするため、関係機関連絡会を開催し、情報交換、事例検討会、講演会などを行うもの。

対象 児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所、保育所(園)、幼稚園、学校、学童保育室、地域子育て支援拠点等

日程等 3/17(月)

内容 (1)児童発達支援センター事業計画(第2期)、事業紹介
(2)グループワーク(お題カードで自己紹介、各施設の現状と課題、解決策)

参加人数 合計49名(計42機関、当日欠席5名)

② 施設支援

概要 保護者へのアプローチ、障害福祉サービスに関する情報提供、施設職員への助言、支援などを行うもの。

対象 市内保育所・園、幼稚園など

日程等 随時

③ CLM研修

概要 三重県の取り組みである「CLM(Check List in 三重)」を紹介し、保育所等の現場職員による発達支援を実践する研修。児童の「気になる行動」をリスト化、対象となる行動を選定、要因と対応策の検討、実施、モニタリングのサイクルでクラス運営を支援するもの。

実施日	事業内容	参加者数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
12/8(日)	CLM導入研修	25人	37人	56人	42人	32人
12/9(月)	国立障害者リハビリテーションセンター学院共催	40人	38人	41人	41人	36人

※予約はあったが、当日の体調不良等でのキャンセルあり。

※12/8(日)、9(月)導入研修参加者内訳(実数)

	保育所	保育園	幼稚園	学童保育室	児童発達支援	国リハ学院	その他	計
12/8(日)	11人	2人	2人	0人	1人	2人	5人	23人
12/9(月)	23人	2人	1人	0人	1人	2人	7人	36人
参加者計	34人	4人	3人	0人	2人	4人	12人	59人

④ 学校への活動

概要 中高校生等の相談の受け皿としてSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を取り入れた事業等を行うもの。

対象 入間市内全中学校の1年生を対象

日程等 5月～3月(夏休み・冬休み・春休みを除く)

実施 高倉小学校、新久小学校(いずれも4年生の1学級に実施)

⑤ 中高生向け支援

概要 中学生・高校生のためのSST講座「夏休みSST集中講座」

「学校でうまく人と喋れない」「親と会話するとケンカになってしまう」など、日常の会話で困っていることに対しSSTを通じて、うまく人と会話をするための方法を学ぶもの。

対象 市内中学生・高校生

日程等 7/23(火)、7/25(木)、7/30(火)、8/6(火)

学年	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校生	計	前年数
人数	1人	1人	0人	3人	5人	8人
割合	20%	20%	0%	60%	100%	

⑥ 休日施設開放

概要 心身の発達に遅れ又は障害のある児童親子が気兼ねなく遊べる場所がほしいとの市民ニーズに応えるため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出がままならず、親子のストレスが高まっている場合に安心して遊べる場所を提供するため、週末に児童発達支援センターの施設を開放するもの。※令和5年度より利用率が低かった午後の部を停止。

対象 心身の発達に遅れ又は障害のある児童とその保護者(各回5組程度)

回数	実施日	部	参加組数	参加者数	割合/組	割合/人
1回目	5/25(土)	午前の部	2組	4人	14.3%	16.0%
2回目	7/6(土)	午前の部	3組	4人	21.4%	16.0%
3回目	9/8(日)	午前の部	3組	5人	21.4%	20.0%
4回目	11/17(日)	午前の部	2組	4人	14.3%	16.0%
5回目	1/18(土)	午前の部	2組	4人	14.3%	16.0%
6回目	2/15(土)	午前の部	2組	4人	14.3%	16.0%
合計		午前の部	14組	25人	100.0%	100.0%

(3)普及啓発

① オンライン講演会

発達支援に関する講義等をビデオ録画し、インターネット上での視聴に供するもの

令和5年度は実施なし

② 世界自閉症啓発デーに伴うブルーライトアップ

概要 4/2は国連が定める「世界自閉症啓発デー」であり、世界中でランドマークのブルーライトアップが行われました。児童発達支援センターの普及啓発事業として西洋館のライトアップを行いました。

日程等 4/2(火)～4/8(月)

※ 4/2～4/8の「発達障害啓発週間」を開催期間としました。